

【放デイ】事業者向け	事業所名	TSヒマワリ
	アンケート実施期間	令和 5年 8月 1日から令和 5年 8月 31日まで
	配布数	配布数 7枚 → 回答数 7枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標・工夫している点
環境・体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				チーム分けや個別活動の時に空間分けを行っている。密にならず、適切な距離になっている
	2 職員の配置数は適切であるか	7				男性介助が必要な時は、併設している生活介護事業所（Jヒマワリ）の職員と協力するなど、工夫ができています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			階段がなく、スムーズに移動できる
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7				各プログラムに目標設定をし、振り返りを行っている。 バイトへの共有会などがあり、業務について振り返りができている。月1度、目標を決めている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1			アンケートを基に、月間予定表の下にTSヒマワリの理念を加えた。昨年度のアンケートを活用し、連絡方法の改善（紙面とLINEを同時に）をした。顔と名前の一致のため、玄関に職員紹介の掲示をした。アンケートを行っている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3			非常勤だから分からない。半田市HPに掲載
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3		受けていない
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7				研修に行く機会が多くある。SSTの研修や市内の研修に参加している。法人及び自立支援協会子ども部会また、研修計画に基づき進めている。非常勤でも参加しやすい勉強会が行われているので参加できている。非常勤も外部研修に出れると良い
適切な支援 の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2			強度行動障害基礎研修を基にした自閉症の特性理解をさらに進めていけると良い。会議での共有・検討で細やかにできている。面談等のニーズ・課題の聞き取りを行っている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1			保護者の方に検査結果をいただいた。お金の計算ができていないか確認のため、買い物をしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1			月1.2回行っている。会議を行い、発言の場を確保している
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				季節や現状に応じた（SST）活動を取り入れている。上記の会議の際に、前回のプログラムのバージョンアップや新しいものを立案している。クラス分けを行っている。「作業」「調理」「遊び」などの大枠を決めつつ、内容を変え、行うことができている。利用者が「やりたいこと」もプログラムにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			長期休暇や休日には、公共交通機関の利用等外出を通じた課題予定を行っている。会議の場でプログラムの目的を決め、方針を統一している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		1		平日は行っているが、土・祝日・長期期間はできていない時が多い。非常勤も含めて行っている。朝、ミーティングで前日の振り返りを行い、支援前に当日の役割等の確認を行っている。非常勤は、出勤時に1日のプログラムや注意点について共有してもらっている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		1		翌日・当日に行っている。上記に同じ。支援が円滑に行えたことだけでなく、個人の行動等で気になる点を共有することでできている。スケジュール表に振り返り時の気づきを記入してくれているため、非常勤にも共有してくれる。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1			記録を取ることはできている。検証・改善につながる工夫があるといい
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3			分からない。会議を行っている。チームで実施できている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	1		1	地域交流の機会の提供が少ないと感じる。ガイドラインの読み合わせを年1回役割別に行えることが次の目標	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3			分からない。児発管又は担当者が対応している	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		下校時間の確認等の連絡はこちらからする。行事予定は保護者・利用者からプリントをもらっている。引き継ぎ時に当日の様子を聞いている。地域の支援級には、1校訪問した。コロナがあげて、徐々に拡大中である。保護者の協力を得ながら行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	1	該当する児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	2	1	できていない。それぞれの機能については理解に努めているが、情報共有まで至っていない。相談員からの情報のみ
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2			面談時に伝えている。すべての児童にできていないため、相談支援事業所と連携しながら進めて良く工夫が求められる。法人内事業所において、行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	1	1	研修等は受講している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	1	現利用者とのように機会を作っていくか課題
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	3			研修に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				連絡票・送迎時などに共有し合っているが、全員とできていないと感じる。面談時に伝えている。非常勤のため、職員を通して、利用者のことを保護者に伝えてもらっている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6			予定を個人で伝えることはしているが、それ以上のことはできていないと感じる。面談を通して日頃の様子等は伝えているが、家庭内での協力を得るまでには至らないこともある
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			新規利用者に伝わっていないことがあった。見学时や契約時に伝えている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1			面談で話している。送迎対応などの相談に対し、状況に合わせて対応できている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1			茶話会を開催している。保護者参観を行った。年1.2回行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	1		分からない。苦情が出る前の配慮や支援、子育ての方向性の共有は都度行っていく工夫が必要
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			インスタグラム等で発信しているが、全員に見てもらえていないわけではない。SNSの発信。
	35	個人情報に十分注意しているか	7				取り扱いについて同意書をもらっている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		1	紙面・電話・メールなど、その方に合わせて変更している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2			10月に夜まつりを開催予定。コロナが緩和されて行事に参加していないので、分からない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7				新型コロナウイルスが5類相当になった時に、今後のお知らせを流した。年に1度の見直しの上、周知を再度繰り返しながら意識付けをしていくことが次の目標。防犯・感染症マニュアルは改めて作成し、周知が必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				TSでは年2回行っている。引き渡し訓練を9月に行う。併設している生活介護事業所（J Jヒマワリ）と合同で月1回、避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				事業所内及び法人内、市内の研修に積極的に参加している。バイトとして事業所内の研修だけでなく、外部の研修に参加させてもらった。月1回の共有、年3回のJ J 合同の委員会を開催など、定期的に設けている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7				対象児には、個別支援計画に記載している。法人内の指針が作られており、職員で共有した上で検討がされている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	5		該当する児童がいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				月に一度、ヒヤリハットの会議を行っている。改善点を上げ、実行している

緑：良い意見

赤：今後改善や工夫をしていく必要がある意見